

会見小だより

令和4年11月9日

第9号

南部町立会見小学校

夢や希望をもち 仲間と共に努力する 会見の子

ほんじょってい 凡事徹底の秋

校長 森川 寿子

学習発表会が無事終わりました。どの学年も、力を合わせて精一杯の演技や演奏ができました。ご家族の皆様の協力や励ましがあつたからこそその成果だったと思います。本当にありがとうございました。

そして、学校に日常生活が帰ってきました。先月の学校だよりで、「自学の秋」の取り組みについてお伝えしましたが、これからしばらく大きな行事もありませんので、落ち着いてじっくりと物事に取り組むのに良い時期となります。「スポーツの秋」「芸術の秋」「食欲の秋」「読書の秋」…。いずれも言い古された言葉かもしれませんが、このような言葉がたくさんあるのは、秋が物事に取り組むのに良い季節である証拠かもしれません。その良き季節に、今度は「凡事徹底の秋」も加えられたらと思います。

大辞林には、「凡事徹底」について「なんでもないような当たり前のことを徹底的に行うこと、または、当たり前のことを極めて他人の追随を許さないことなどを意味する四字熟語」と書かれています。いったい何が「凡事(何でもないような当たり前のこと)」なのかと言われれば、人や国、文化によっても違ってくるのかもしれませんが、皆さんはどのようなことが「凡事」だと思われるでしょうか。

以前勤務した学校では、それを「あいさつ・返事・くつそろえ」としていました。人に出会ったらあいさつをする、名前を呼ばれたら返事をする、脱いだくつ(スリッパ)はそろえる。「凡事徹底、あいさつ・返事・くつそろえ」と何度も繰り返し唱えて、合言葉として学校全体で取り組んだことを記憶しています。この取り組みは、特別派手な何かがあるわけではありませんでした。でも、日常生活の中にあいさつや返事がきちんとあつたり、はきものがそろっていたりすることで、暮らしも心も整う気がしたものです。そして、そんな「凡事」は、毎日やり続けることが難しいことでもありました。簡単だけれどやり続けることは難しい、難しいけれどやり続けることに価値がある。だからこそ、「凡事徹底」という言葉は、世の中の多くの人々に大事にされてきているのでしょう。

2019年に引退したイチロー選手は高校生活の3年間、1日たった10分、寝る前に必ず素振りをしたそうです。1日10分の素振りは、誰でもできるかもしれませんが、その1日10分の素振りを365日、盆も正月も、雨の日も風の日も、眠い日も疲れた日も、3年間休むことなく続ける…。そんな「凡事徹底」がイチロー選手をつくり上げたのだとしたら、その難しさと価値を物語っていると思います。

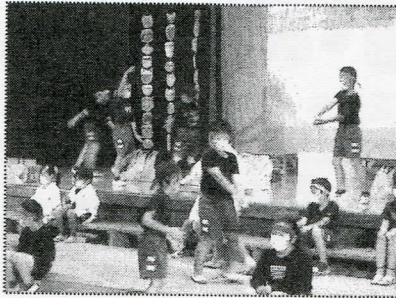
会見小学校でも生活と学習において「これだけは！」ということを表にして各教室に掲示しています。2学期も残り1か月半。当たり前のことに当たり前に取り組み続ける「凡事徹底の秋」としていきたいと思います。

凡事徹底

学習発表会



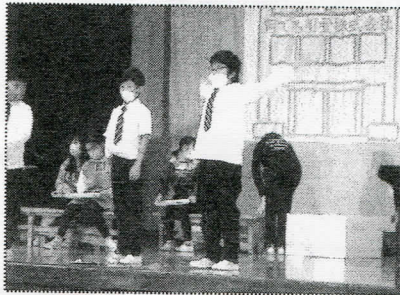
1年 たのしい あき いっぱい



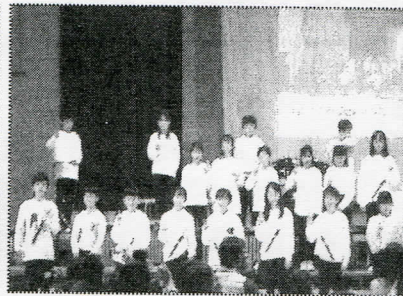
2年 にじいろにんじゃへの道



3年 千本桜・シンクロボンバイエ他



4年 何でも引受株式会社



5年 ミックスナッツ・キリマンジャロ



金管クラブ 喜びの歌・ベストメドレー

11月5日(土)に、学習発表会が行われました。

今年度のテーマは、「同心協力(どうしん きょうりょく)」。各学年とも日頃学習した成果を皆様へお見せすることができた発表会だったと思います。限られた練習時間の中、劇や音楽など、これまでに学んだことをもとに、その学年らしい工夫を加えながら発表しました。子どもたちの熱のこもった発表に、観覧された方から多くの賛辞をいただきました。この発表会で培われた協力する力や表現する力が、今後の生活場面でも大いに活かされるように指導していきたいと思ひます。

コロナ禍の中、観覧の制限など、保護者や地域の方には何かとご不便をおかけしましたが、ご理解ご協力をいただき、充実した発表会となりました。

ありがとうございました。

6年 雲の上の三武将

*6年生は、準備・片付け・あいさつと小学校生活最後の学習発表会を大いに盛り上げてくれました。



【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止についてのお願い】

県内の感染者数が高止まりしています。児童本人、ご家族に体調不良の方があれば、無理をして登校をされず、受診をしてください。また、PCR検査を受けることになった際には、学校にも必ずご連絡をいただきますようお願いいたします。